NO BORDER

すべてを超えて くすりの未来へ

2018年度
第1四半期決算
Conference Call

2018年8月7日

日本新薬株式会社

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

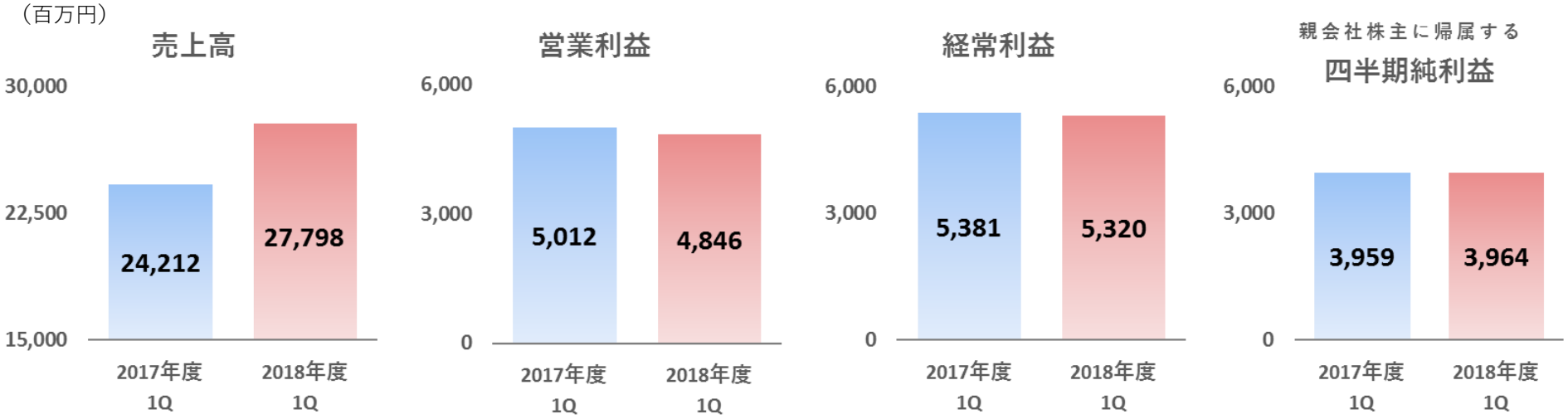
2018年度第1四半期概要

◆ 売上高　：　27,798百万円　（対前年同期比+14.8%）

◆ 営業利益　：　4,846百万円　（対前年同期比△3.3%）

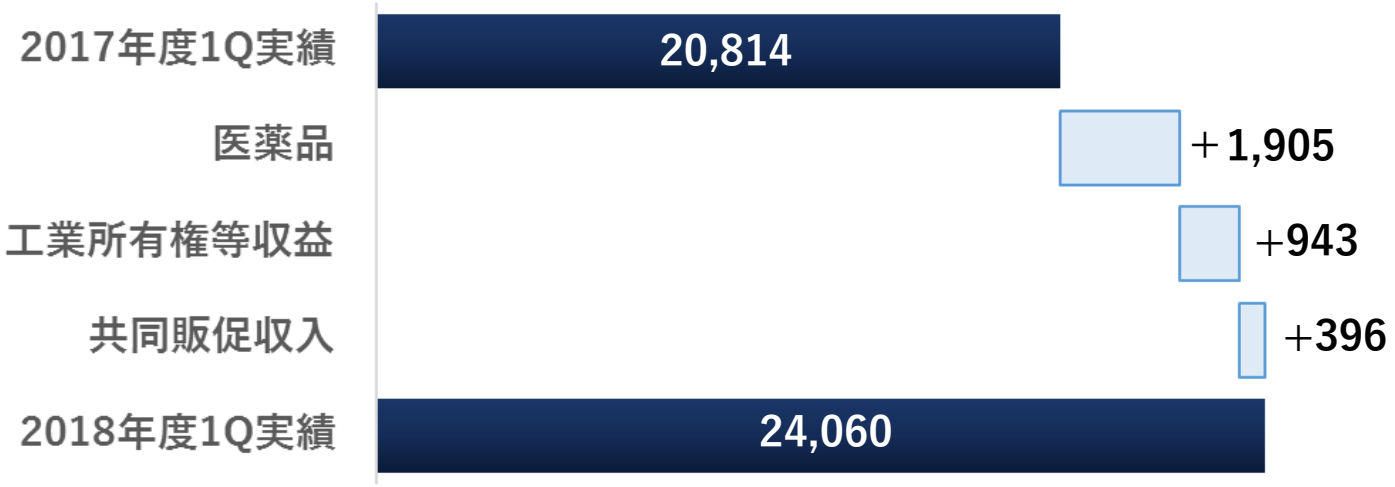
◆ 経常利益　：　5,320百万円　（対前年同期比△1.1%）

◆ 親会社株主に帰属する四半期純利益　：　3,964百万円　（対前年同期比+0.1%）



売上高、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を上回る結果でした。

医薬品売上高 の 内訳

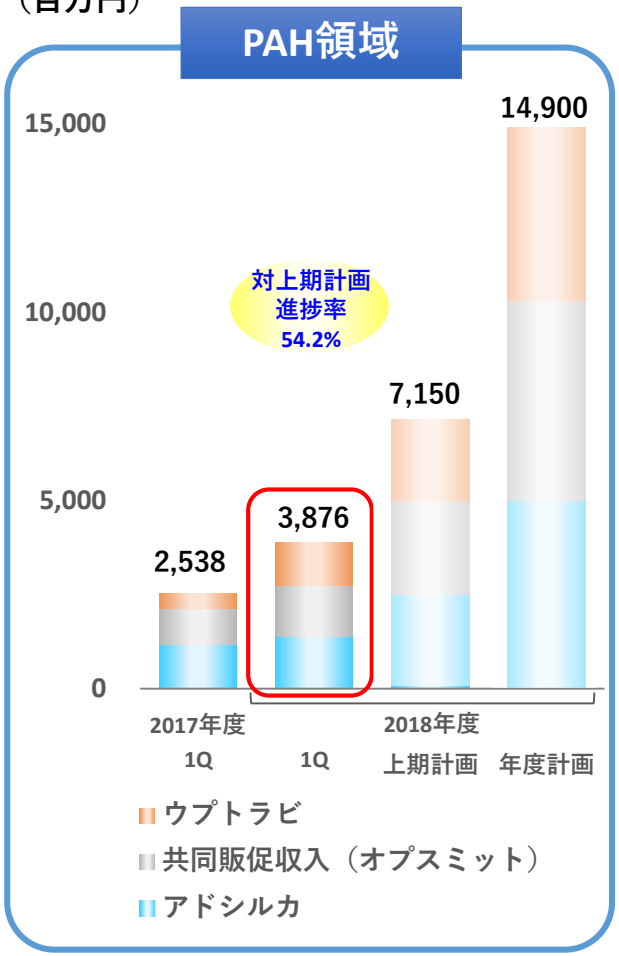


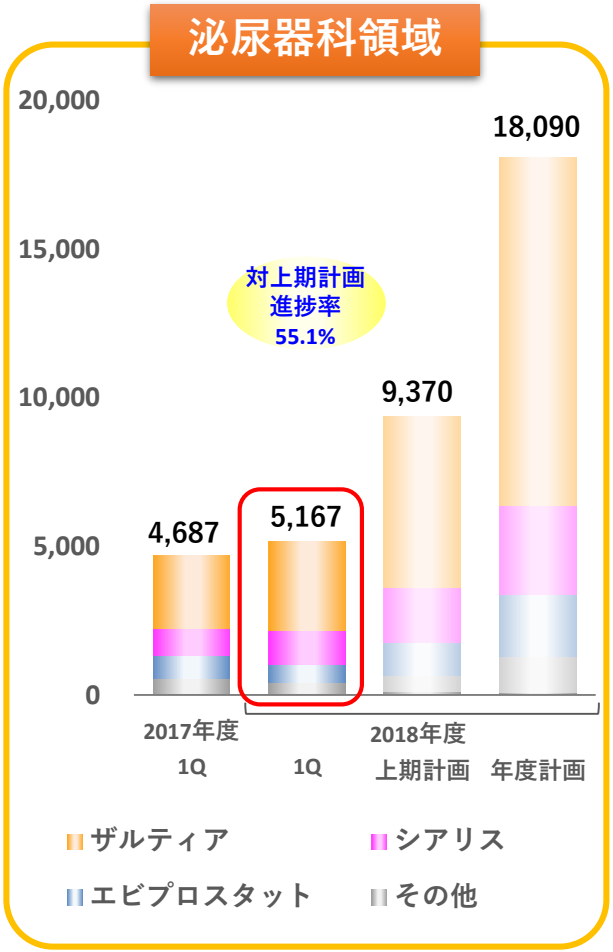
（百万円）	2017年度1Q		2018年度1Q		差異	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
医薬品	17,724	85.2%	19,630	81.5%	+1,905	+10.8%
工業所有権等収益	2,148	10.3%	3,092	12.9%	+943	+43.9%
共同販促収入	940	4.5%	1,337	5.6%	+396	+42.1%
医薬品合計	20,814	100.0%	24,060	100.0%	+3,245	+15.6%

新製品群の伸長や工業所有権等収益、共同販促収入の増加により
15.6%の増収となりました。

注力領域の売上進捗

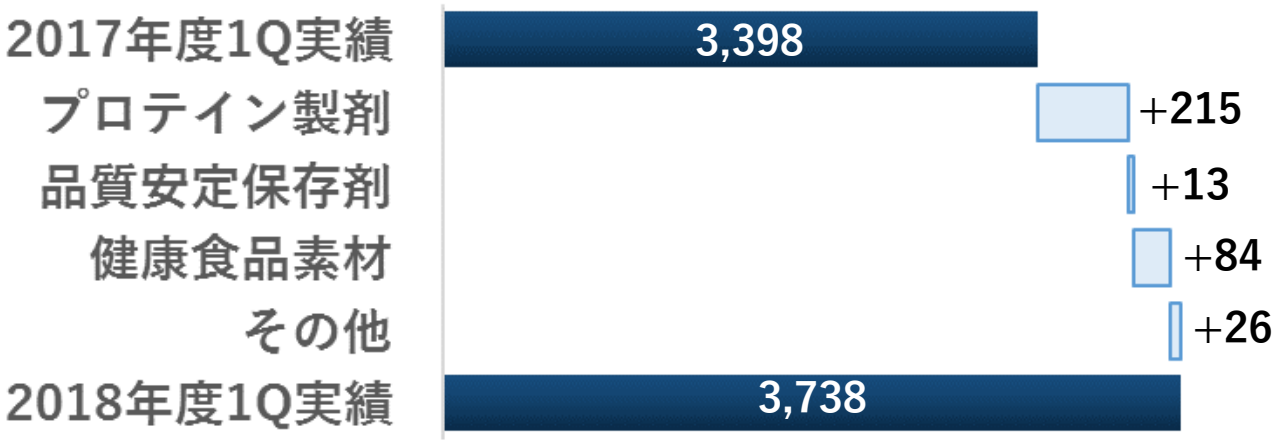
（百万円）





注力領域の売上は上期計画に沿って順調に進捗しています。

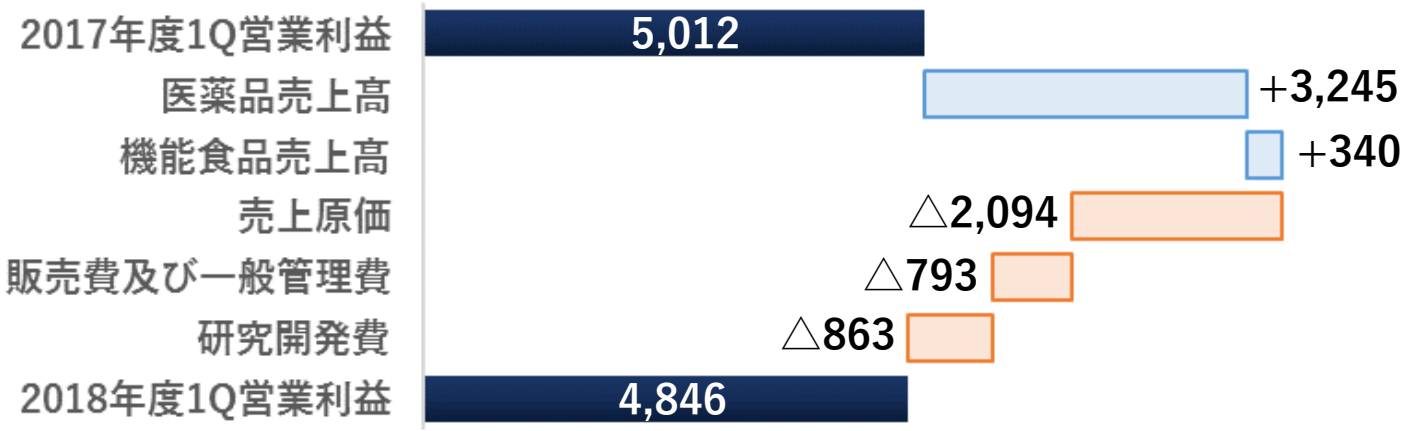
機能食品売上 の 内訳



（百万円）	2017年度1Q		2018年度1Q		差異	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
プロテイン製剤	2,303	67.8%	2,519	67.4%	+215	+9.4%
品質安定保存剤	550	16.2%	563	15.1%	+13	+2.4%
健康食品素材	197	5.8%	281	7.5%	+84	+42.7%
そ　の　他	346	10.2%	373	10.0%	+26	+7.7%
機能食品合計	3,398	100.0%	3,738	100.0%	+340	+10.0%

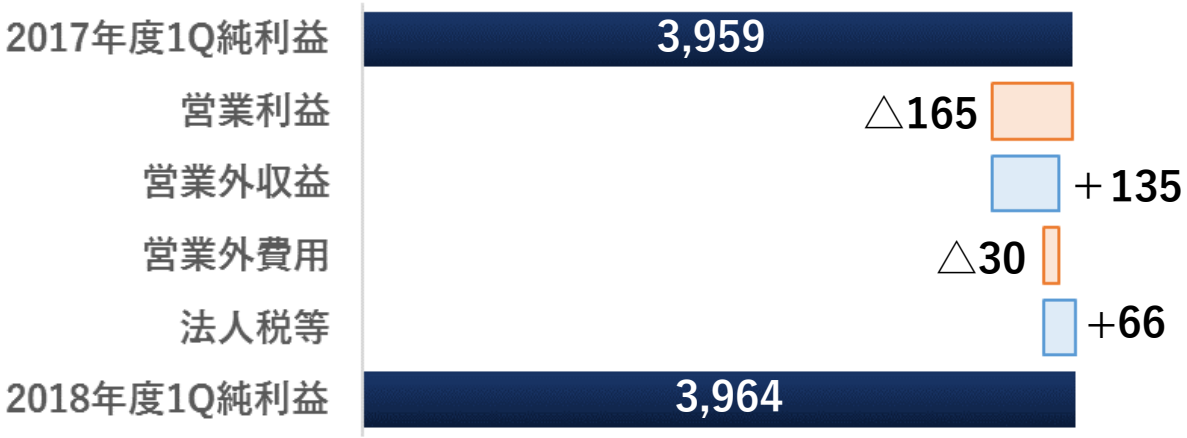
プロテイン製剤、健康食品素材の売上が増加し、10.0%の増収となりました。

営業利益



（百万円）	2017年度1Q 実績	2017年度1Q 売上比	2018年度1Q 実績	2018年度1Q 売上比	差異	増減率
営業収益						
売上高	24,212	100.0%	27,798	100.0%	+3,585	+14.8%
（医薬品）	(20,814)	(86.0%)	(24,060)	(86.6%)	(+3,245)	(+15.6%)
（機能食品）	(3,398)	(14.0%)	(3,738)	(13.4%)	(+340)	(+10.0%)
営業費用	19,200	79.3%	22,951	82.6%	+3,751	+19.5%
売上原価	11,125	46.0%	13,220	47.6%	+2,094	+18.8%
販売費及び一般管理費	5,872	24.2%	6,665	24.0%	+793	+13.5%
研究開発費	2,202	9.1%	3,065	11.0%	+863	+39.2%
営業利益	5,012	20.7%	4,846	17.4%	△ 165	△3.3%

親会社株主に帰属する四半期純利益



（百万円）	2017年度1Q 実績	2018年度1Q 実績	差異	増減率
営業利益	5,012	4,846	△ 165	△3.3%
営業外収益	447	582	+135	+30.2%
営業外費用	77	108	+30	+39.5%
経常利益	5,381	5,320	△ 61	△1.1%
法人税等	1,422	1,356	△ 66	△4.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,959	3,964	+4	+0.1%

2018年度 連結業績予想

（百万円）	2017年度		2018年度				2018年度（第五次中計）
	１Ｑ実績	年度実績	１Ｑ実績	対上期進捗率	上期予想	年度予想	
売上高	**24,212**	**101,448**	**27,798**	**53.5%**	**52,000**	**108,000**	**110,000**
（医薬品）	(20,814)	(87,416)	(24,060)	(53.6%)	(44,900)	(93,600)	-
（機能食品）	(3,398)	(14,031)	(3,738)	(52.7%)	(7,100)	(14,400)	-
営業利益	**5,012**	**17,079**	**4,846**	**74.6%**	**6,500**	**18,500**	**18,000**
経常利益	**5,381**	**17,451**	**5,320**	**78.2%**	**6,800**	**19,000**	-
親会社株主に帰属する当期純利益	**3,959**	**12,953**	**3,964**	**80.9%**	**4,900**	**14,000**	**12,000**

医薬品・機能食品売上高、各利益ともに
上期計画、年度計画に沿って順調に進捗しています。

研究開発の進捗状況

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

新製品開発状況（国内）

開発品目	申請区分	適応症等	開発準備中	PI	PII	PIII	申請準備中	発売準備中
GA101 （ｵﾋﾞﾇﾂｽﾞﾏﾌﾞ） （導入）	新成分	CD20陽性の 濾胞性リンパ腫						
NS-73 （ﾃﾞﾌｨﾌﾞﾛﾁﾄﾞﾅﾄﾘｳﾑ） （導入）	新成分	肝中心静脈閉塞症 （治療）						
	新効能	肝中心静脈閉塞症 （予防）						
NS-304 （ｾﾚｷｼﾊﾟｸﾞ） （自社）	新効能	慢性血栓塞栓性 肺高血圧症						
		閉塞性動脈硬化症						
		腰部脊柱管狭窄						
NS-580 （自社）	新成分	子宮内膜症						
NS-17 （ｱｻﾞｼﾁｼﾞﾝ） （導入）	新効能	急性骨髄性白血病						
NS-065/NCNP-01 （自社）	新成分	デュシェンヌ型 筋ジストロフィー						
NS-32 （導入）	新成分	鉄欠乏性貧血						
NS-917 （導入）	新成分	再発・難治性 急性骨髄性白血病						
NS-87 （導入）	新成分	二次性 急性骨髄性白血病						

■ ： 2017年度通期決算時からの変更箇所

新製品開発状況（海外）

開発品目	申請区分	適応症等	開発準備中	PI	PII	PIII	申請準備中	申請中
プルリフロキサシン（自社）	新成分	合成抗菌剤						
NS-065/NCNP-01（自社）	新成分	デュシェンヌ型筋ジストロフィー						
NS-018（自社）	新成分	骨髄線維症						

参 考 資 料

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

財政状況

（百万円）	2017年度 期末実績	2018年度 1Q実績	差異		2017年度 期末実績	2018年度 1Q実績	差異
資産の部	155,887	156,779	+892	負債の部	30,197	29,444	△ 753
（流動資産）	95,176	97,120	+1,944	（流動負債）	22,454	22,032	△ 421
（固定資産）	60,710	59,659	△ 1,051	（固定負債）	7,743	7,412	△ 331
				純資産の部	125,689	127,335	+1,645
合　計	155,887	156,779	+892	合　計	155,887	156,779	+892

＝資産の部＝

現金及び預金	△ 1,615
受取手形及び売掛金	＋ 3,394
たな卸資産	△ 700
有形固定資産	△ 230
投資その他の資産	△ 791

＝負債・純資産の部＝

支払手形及び買掛金	△ 1,812
未払金	△ 545
未払法人税等	△ 392
賞与引当金	＋ 1,426
利益剰余金	＋ 2,212

ＧＡ１０１（オビヌツズマブ）
－ CD20陽性の濾胞性リンパ腫治療剤 －

開発段階： 海外 EU・米国 承認（ロシュ社）
2018/7 国内 製造販売承認（中外製薬（株））

開発形態： 2012/11 中外製薬（株）から導入
国内は中外製薬（株）と共同開発

作用機序： 抗CD20モノクローナル抗体

適 応 症： CD20陽性の濾胞性リンパ腫

剤　　型： 注射剤

特　　徴： ヒト化抗CD20モノクローナル抗体で、
抗体依存性細胞傷害活性および直接的
細胞死の誘導能を増強

ＮＳ-７３ （デフィブロチドナトリウム）
－ 肝中心静脈閉塞症治療剤 －

開発段階： 申請準備中（治療）
PⅢ試験（予防）

開発形態： 自社開発（治療）
ジャズ・ファーマシューティカルズ社と共同開発（予防）
2017/3 ジャズ・ファーマシューティカルズ社より導入

作用機序： 血管内皮保護作用、凝固および線溶系のバランスの正常化

適 応 症： 肝中心静脈閉塞症（VOD）*
*造血細胞移植後の重篤な合併症で、重症化した場合は高い死亡率を示す

剤　　型： 注射剤

特　　徴：
・VOD患者の生存率を上昇させた初の薬剤
・世界35カ国で発売中
・VODの予防を適応とする初の薬剤

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文書は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文書とは異なる現実的な結論、結果を招きえる不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、貨幣為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了ならびに中止、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関からの承認取得、国内外の社会保障制度関連 改革、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。